

## 猪名寺村文書概要

1:文書群番号	099019-1
2:文書群名	猪名寺村文書
3:出所	猪名寺村
4:家業・役職等	-
5:地名	摂津国川辺郡猪名寺村／兵庫県川辺郡猪名寺村／川辺郡園田村猪名寺／尼崎市猪名寺／尼崎市猪名寺1丁目ほか
6:行政区分	幕府領・大坂定番領／田安德川氏領／兵庫県第12区／下食満組戸長役場／園田村／尼崎市
7:歴史	猪名寺は市域北東部、猪名川と藻川の分岐点の西岸に位置する。近世初期の支配は幕府領と大坂定番領とを数度繰り返したが、延享3年(1746)に田安德川氏の所領になって以降はそのまま明治に至った。近代は園田村の大字であったが、昭和22年(1947)園田村と尼崎市との合併により尼崎市の大字となった。
8:伝来	故島野三千穂氏収集史料の一部。平成13年(2001)5月、島野幸子氏より寄贈。
9:史料入手先	島野幸子氏
10:点数	80点(目録件数76件)
11:年代	正徳4年(1714)～近代
12:構造と内容	本文書群は主に①近世の猪名寺村関係、②西沢家ほかの私的文書からなる。①は年貢算用帳や年貢割付帳など年貢関係の史料が多い。また、村の旦那寺の一つである法園寺関係のものもある。②は近世には猪名寺村の庄屋、近代以降は戸長・村会議員・郡会議員・園田村村長を務めた西沢家に関わる史料が多い。西沢家の史料としてほかに西沢忠城氏文書があり、本文書群は同氏文書と本来一体をなしていたと考えられるが、何らかの理由で流出したものと思われる。
13:関連史料	-
14:閲覧条件	原本
15:作成者	中村由佳